

(項目)定款第 4 条に基づき下記の事業を行った。

1. 研究助成事業

1) 若手外国人留学生に対する研究助成「杉田 SPI0 研究助成金」

耳鼻咽喉科学及び関連分野における優れた研究を行う外国人若手研究者を公募し、選考の結果、受賞者及び助成額は以下のとおり。交付式は 26 年 12 月 9 日に開催された

(1) モハメド・エルラビ・アフマド: Mohammed Elrabie Ahmed (エジプト) 29 万 6 千円

京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 (指導教授: 久 育男)

「下咽頭収縮筋における筋小胞体  $Ca^{2+}$ ATPase 発現の検討」

(2) ミラベル ビー リンガン: Milabelle B. Lingan (フィリピン) 30 万円

北海道大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 (指導教授: 福田 諭)

「MULTI-PARAMETER VOICE ASSESSMENT ANDMANAGEMENT SCHEME FOR SPASMODIC DYSPHONIA」

(3) モハメド・モダセル アボシェニフ: Mohamed Modather Aboshanif (エジプト) 30 万円

秋田大学大学院医学系研究科・医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 (指導教授: 石川 和夫)

「REG-1 は扁平上皮癌の放射線感受性や易転移性を予測するマーカーとなり得るか-基礎的研究-」

(4) マハムド・アハメド ハメド・アハメド: Mahmood Ahmed Hamed Ahmed (エジプト) 30 万円

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (指導教授: 鈴木 賢二)

「真珠腫性中耳炎の術後創傷治癒過程に関する研究」

(5) ディルジャ・バユ・ディルタ: Dirja Bayu Tirta (インドネシア) 30 万円

福島県立医科大学医学部 耳鼻咽喉科学講座 (指導教授: 大森 孝一)

「Regeneration of laryngeal muscle from induced pluripotent stem cells」

2) 若手日本人研究者に対する助成「戸田 SPI0 奨学金」

海外の学会で研究発表あるいは研究のための留学をする日本人若手研究者を公募し、選考の結果、以下の 6 名に各々奨学金 20 万円を交付した。

(1) 小泉 洸 (秋田大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

米国 The University of Chicago

留学目的: パッチクランプ法を用いた内耳機能解析

留学期間: 2014 年 7 月 ~ 2016 年 3 月

(2) 藤田 岳 (神戸大学大学院医学研究科外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野)

米国 Massachusetts Eye and Ear Infirmary

留学目的: 動物モデルを用いた聴神経腫瘍による聴覚障害

留学期間: 2014 年 4 月 ~ 2016 年 3 月

- (3) 齊藤 祐毅 (東京大学医学部 耳鼻咽喉科学講座)

米国 5th World Congress of IFHNOS & Annual Meeting of the AHNS, USA, New York City  
学会開催期間: 2014年7月26日~7月30日

- (4) 鈴木 正宣 (北海道大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野)

米国 AAO-HNSF ANNUAL MEETING & OTO EXPO, USA, Orland  
学会開催期間: 2014年9月21日~9月24日

- (5) 佐野 大佑 (横浜市立大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

米国 5th World Congress of IFHNOS & Annual Meeting of the AHNS, USA, New York City  
学会開催期間: 2014年7月26日~7月30日

- (6) 平井 美紗都 (岡山済生会総合病院 耳鼻咽喉科)

UAE 33rd ISIAN & 15th IRS & 4th PARS, UAE, Dubai  
学会開催期間: 2014年11月20日~11月24日

### 3) 国際的に有意義な研究に対する助成「コストコ SPIO 研究助成金」

難聴及び補聴器関連の研究から、選考を実施し、以下の3件の研究に対して、各々100万円の助成金を交付した。

- (1) 聴覚障害とうつ・認知症に関する研究 (慶應義塾大学 小川 郁 教授)

- (2) 難聴児のリハビリテーションについて (医療法人萌悠会 神田 E・N・T 医院 神田 幸彦 理事長)

- (3) 高度難聴児の言語習得における脳機能 (神戸市立医療センター中央市民病院 内藤 泰 耳鼻咽喉科部長)

### 4) SPIO Award の表彰

日耳鼻学会刊行の AURIS NASUS LARYNX (ANL) 41 巻に掲載された論文を選考委員会において審査した結果、自治医科大学埼玉医療センターの金沢弘美氏と金沢大学の石川和也氏の2名が選ばれた。賞状と賞金5000ドルは2名に分けて贈呈。表彰式及び講演は、第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(27年5月22日 東京)において行われる。

Hiromi Kanazawa: Risk factors associated with severity of eosinophilic otitis media,  
ANL Vol.41, No.6, 513-517, 2014

Kazuya Ishikawa: Expression of interleukin-33 is correlated with poor prognosis of patients  
with squamous cell carcinoma of the tongue, ANL Vol.41, No.6, 552-557, 2014

## 2. 国際学術会議等開催助成事業

### 1) 国際学術会議等開催助成

①第32回環太平洋外科系学会 (20万円)

②Myers 教授顕彰支援事業 (50万円)

③30<sup>th</sup> Politzer Society Meeting (50万円)

- ④第 53 回日本鼻科学会総会・学術講演会（30 万円）
- ⑤第 38 回日本嚙下医学会総会ならびに学術講演会（50 万円）
- ⑥第 59 回日本聴覚医学会総会・学術講演会（75 万円）
- ⑦第 24 回日本耳科学会総会・学術講演会（75 万円）

2) 国際学術会議等開催助成のための寄附金募集助成

国際学術会議等 年間延べ 28 件寄附金募集助成（別紙参照）

3. その他

- 1) SPIO クラブを開設し、活動の周知を行った。（第 115 回日耳鼻総会時 26 年 5 月福岡）
- 2) ニュースレターを作成して助成事業等の報告等を行った。（26 年 4 月）
- 3) 事務所を移転した。（26 年 9 月 1 日 文京区湯島）
- 4) 一般向け周知活動の一環として公開講座を開催した。（26 年 9 月 28 日 文京シビックセンター）